

地域の担い手を増やす 「福祉 SOS ゲーム」を越谷でつくる

日時

12月7日(木)

14:00~16:30

定員 40 名 (申し込み順)

無料

会場

越谷市男女共同参画支援センター

「ほっと越谷」セミナールーム

越谷市大沢 3-6-1

パルテきたこし3階

(北越谷駅東口徒歩 1 分)

駐輪・駐車場 有料

これからの住みやすい地域づくりには、住民同士の支え合いが欠かせません。

「配偶者が認知症で徘徊する」「ごみ出しが大変」など地域にはさまざまな課題があります。「福祉 SOS ゲーム」は地域住民同士が支え合い、最適な専門機関への橋渡しを学べる疑似体験ゲームです。草加市と文教大学が協働開発しました。その手法を使い、北越谷、大沢エリアに合わせたゲームを作りました。相談者の状況と悩みを記載した事例カードをもとに、グループで話し合いながら、地図上の各種施設、病院、各種支援センターなどの役割を知り、どの「社会資源」につなげればいいのかを考えます。

もりきょうこ

講師：森恭子文教大学人間科学部人間科学科准教授



プロフィール

日本女子大学大学院博士後期課程修了

シドニー大学大学院修士課程修了

専門は「地域福祉論」「国際社会福祉論」

越谷市社会福祉審議会地域福祉専門部会会長

越谷市介護保険運営協議会副会長

その他多数の役職を務めている



申込連絡先

認定NPO法人さいたまNPOセンター越谷事務所

電話 090-3590-9795 (おおよ)

主催 認定NPO法人さいたまNPOセンター越谷事務所

協働 越谷市男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

後援 越谷市、越谷市社会福祉協議会

*保育あり：1歳6か月～未就学児 5人無料

申込締切 11月28日(火)

*保育申込先：「ほっと越谷」電話 048-970-7411

「福祉 SOS ゲーム」とは

草加市と文教大学の協働で作成された。

地域で市民を支援する人や団体の相談対応力の向上のために作成されたゲーム。支援者等が、福祉課題や社会資源について知り、適切な専門機関に繋ぐなぐれをはぐくむもの。

SOSは「社会資源、お悩み、相談」最後のSには相談とともに草加のSも。(草加市HPより抜粋)